

船井情報科学振興財団奨学生レポート

2019年7月

勝谷郁也

5年が終わり、就職活動と最後の仕上げに取り掛かり、大変忙しい日々を過ごしています。

就職活動は、専攻で見つけようとする、仕事の機密上で市民権を必要としてしまい、卒業後の初めの仕事として難しそうです。そのため、医療応用等へも広げて、探しております。日本で行っていた研究に興味を持ってもらえることが多く、実用的な研究が重視されることを実感しています。これは、おそらくアメリカでは、人材の流れが速く研修をあまりせずに、必要としているポストですぐに活躍してもらいたいということからきているようです。

研究面では、第一著書の研究論文が *Physical Review B* に出版されました。
(<https://journals.aps.org/prb/abstract/10.1103/PhysRevB.99.035426>) それと、同僚の論文に共著として参加しています。5年間で8本の論文に貢献でき、今までの研究の多様性がようやく報われ始めました。

忙しいながらも、昨年からはじめた猫と元気に過ごしております。

PHYSICAL REVIEW B
covering condensed matter and materials physics

Highlights Recent Accepted Authors Referees Search Press About

Access by Fondren Library, Rice University [Go Mobile »](#)

Direct observation of cross-polarized excitons in aligned single-chirality single-wall carbon nanotubes

Fumiya Katsutani, Weilu Gao, Xinwei Li, Yota Ichinose, Yohei Yomogida, Kazuhiro Yanagi, and Junichiro Kono
Phys. Rev. B **99**, 035426 – Published 16 January 2019

1

Twitter Facebook More

Article References Citing Articles (1) PDF HTML Export Citation